

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 10 月 7 日 (2024.10.7)

【公開番号】 特開 2023-70829 (P2023-70829A)
【公開日】 令和 5 年 5 月 22 日 (2023.5.22)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-093
【出願番号】 特願 2021-183178 (P2021-183178)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02 (2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320
A 63 F 7/02 304 D

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 9 月 27 日 (2024.9.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
第 1 演出モードと第 2 演出モードとを含む演出モードにおいて、第 1 背景表示と第 2 背景表示とを含む複数種類の背景表示を切り替えて表示可能であり、
前記第 1 演出モードにおいて、前記背景表示を該第 1 演出モードに対応する第 1 背景表示から該第 1 演出モードに対応する第 2 背景表示へ切り替えるときに、該第 1 演出モードに対応する第 1 背景表示の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、該第 1 演出モードに対応する第 2 背景表示の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、
前記第 1 演出モードにおいて、該第 1 演出モードに対応する識別情報の可変表示を開始するときに、該第 1 演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次高めていく識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、
前記第 1 演出モードにおいて、該第 1 演出モードに対応する識別情報の可変表示を終了するときに、該第 1 演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次低くしていく識別情報フェードイン表示を実行可能であり、
前記第 2 演出モードにおいて、前記背景表示を該第 2 演出モードに対応する第 1 背景表示から該第 2 演出モードに対応する第 2 背景表示へ切り替えるときに、該第 2 演出モードに対応する第 1 背景表示の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、該第 2 演出モードに対応する第 2 背景表示の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、
前記第 2 演出モードにおいて、該第 2 演出モードに対応する識別情報の可変表示を開始するときに、該第 2 演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次高めていく識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、
前記第 2 演出モードにおいて、該第 2 演出モードに対応する識別情報の可変表示を終了するときに、該第 2 演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次低くしていく識別情報フェードイン表示を実行可能であり、
前記第 1 演出モードにおける前記識別情報フェードイン表示の実行期間と前記背景フェー

30

40

50

ドイン表示の実行期間とが異なり、
前記第2演出モードにおける前記識別情報フェードイン表示の実行期間と前記背景フェードイン表示の実行期間とが異なり、
前記第1演出モードにおける前記識別情報フェードアウト表示の実行期間と前記背景フェードアウト表示の実行期間とが異なり、
前記第2演出モードにおける前記識別情報フェードアウト表示の実行期間と前記背景フェードアウト表示の実行期間とが異なり、
遊技が終了した後の第1期間において、前記背景表示を表示可能であり、
前記第1期間が終了した後の第2期間において、デモンストレーション表示を表示可能であり、
前記デモンストレーション表示は、企業名表示シーンと、タイトル名表示シーンと、注意喚起表示シーンと、を含んで構成され、
前記企業名表示シーンは、遊技機に係る企業名の文字表示をアニメーション表示させるシーンであり、
前記タイトル名表示シーンは、遊技機のタイトル名の文字表示をアニメーション表示させるシーンであり、
前記注意喚起表示シーンは、遊技機を遊技する際の注意喚起の文字表示をアニメーション表示させるシーンであり、
遊技機に係る企業名の文字表示のアニメーション表示は、遊技機を遊技する際の注意喚起の文字表示のアニメーション表示よりも強調される態様であり、
遊技機のタイトル名の文字表示のアニメーション表示は、遊技機を遊技する際の注意喚起の文字表示のアニメーション表示よりも強調される態様である、

10

20

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
第1演出モードと第2演出モードとを含む演出モードにおいて、第1背景表示と第2背景表示とを含む複数種類の背景表示を切り替えて表示可能であり、
前記第1演出モードにおいて、前記背景表示を該第1演出モードに対応する第1背景表示から該第1演出モードに対応する第2背景表示へ切り替えるときに、該第1演出モードに対応する第1背景表示の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、該第1演出モードに対応する第2背景表示の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、
前記第1演出モードにおいて、該第1演出モードに対応する識別情報の可変表示を開始するときに、該第1演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次高めていく識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、
前記第1演出モードにおいて、該第1演出モードに対応する識別情報の可変表示を終了するときに、該第1演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次低くしていく識別情報フェードイン表示を実行可能であり、
前記第2演出モードにおいて、前記背景表示を該第2演出モードに対応する第1背景表示から該第2演出モードに対応する第2背景表示へ切り替えるときに、該第2演出モードに対応する第1背景表示の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、該第2演出モードに対応する第2背景表示の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、
前記第2演出モードにおいて、該第2演出モードに対応する識別情報の可変表示を開始す

30

40

50

るときに、該第２演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次高めていく識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、
前記第２演出モードにおいて、該第２演出モードに対応する識別情報の可変表示を終了するときに、該第２演出モードに対応する識別情報の透明度を漸次低くしていく識別情報フェードイン表示を実行可能であり、
前記第１演出モードにおける前記識別情報フェードイン表示の実行期間と前記背景フェードイン表示の実行期間とが異なり、
前記第２演出モードにおける前記識別情報フェードイン表示の実行期間と前記背景フェードイン表示の実行期間とが異なり、
前記第１演出モードにおける前記識別情報フェードアウト表示の実行期間と前記背景フェードアウト表示の実行期間とが異なり、
前記第２演出モードにおける前記識別情報フェードアウト表示の実行期間と前記背景フェードアウト表示の実行期間とが異なり、
遊技が終了した後の第１期間において、前記背景表示を表示可能であり、
前記第１期間が終了した後の第２期間において、デモンストレーション表示を表示可能であり、
前記デモンストレーション表示は、企業名表示シーンと、タイトル名表示シーンと、注意喚起表示シーンと、を含んで構成され、
前記企業名表示シーンは、遊技機に係る企業名の文字表示をアニメーション表示させるシーンであり、
前記タイトル名表示シーンは、遊技機のタイトル名の文字表示をアニメーション表示させるシーンであり、
前記注意喚起表示シーンは、遊技機を遊技する際の注意喚起の文字表示をアニメーション表示させるシーンであり、
遊技機に係る企業名の文字表示のアニメーション表示は、遊技機を遊技する際の注意喚起の文字表示のアニメーション表示よりも強調される態様であり、
遊技機のタイトル名の文字表示のアニメーション表示は、遊技機を遊技する際の注意喚起の文字表示のアニメーション表示よりも強調される態様である、
ことを特徴とする。
このような構成によれば、識別情報の可変表示を好適に見せることができるので、商品性を高めることができる。

10

20

30

40

50